

がっこう動物新聞

第11号

公益社団法人



さあ、下級生に引き継ごう

大切な動物を上手にお世話してもらうために

学校で喜ぶ動物たちは元気ですか？

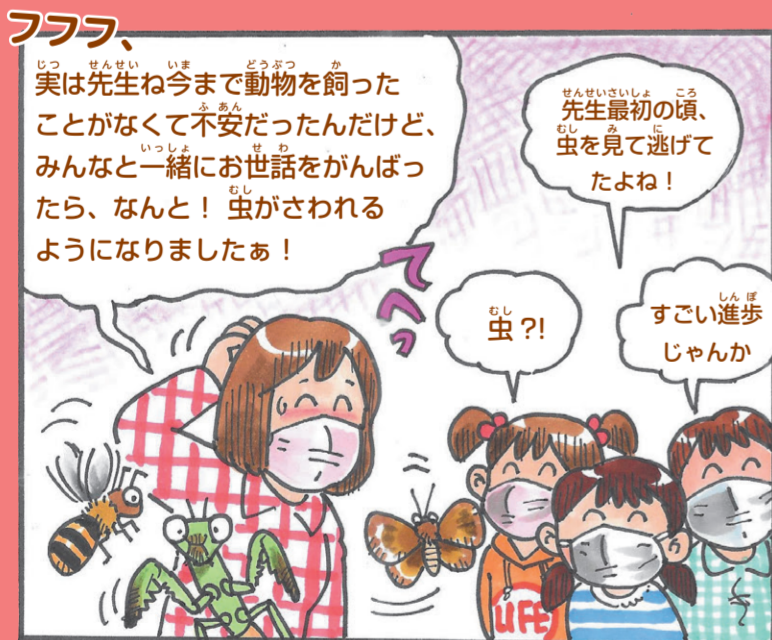
全国の小学校ではいろんな方法で動物を飼育しています。生活科での飼育として1～2年生の教室にモルモットがいたり、学年飼育でチャボやウサギのお世話をしたり、飼育委員会での活動があります。およそ1年間のお世話が終わると次の学年や担当のお友達へ引き継がれていきます。どんな様子でしょうか。

みんなお世話が上手になったから、みんなが気が付いたことを教えてあげれば下級生の心配も減るんじゃないかな



1

動物の紹介をする



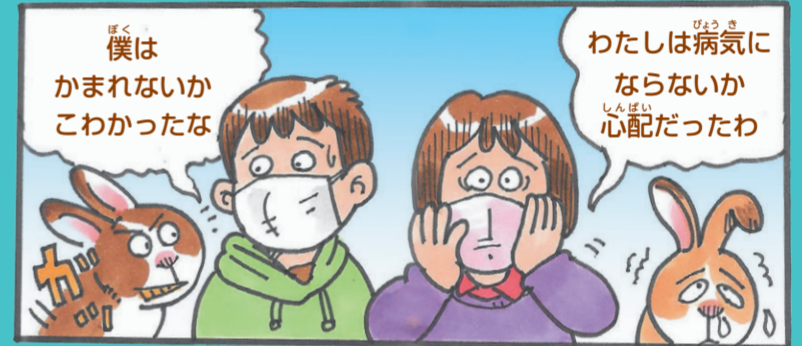
2

早く動物となかよくなるために



3

獣医さんに相談する



飼育に関するアドバイス

文部科学省教科調査官 齋藤博伸

生き物を飼育する上で大切なのは、生き物に心を寄せ、愛着をもって接するとともに、生命あるものとして世話をしようとする事です。例えば名前を呼んでえさをあげる、食べている様子をじっくりと見る、飼育ケージを掃除して気持ちよく過ごせるようするなど、工夫して世話をすることです。そのためには、生き物の立場に立って世話をしたり、困ったことや知りたいことは、本などで調べたり獣医師さんなどの専門家に聞いたりしましょう。

日本獣医師会は、学校の動物飼育活動を応援しています。学校で飼育している動物の病気や怪我、お世話の仕方など遠慮なく近くの獣医師会にご相談ください。



公益社団法人 日本獣医師会

〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館23F
TEL 03-3475-1601 FAX 03-3475-1604